

GSV-B グループスーパービジョンB

講師	取出 涼子 先生 医療法人社団 輝生会 ※ ²		
内容	グループスーパービジョン		
受講要件	東京都医療ソーシャルワーカー協会正会員もしくは準会員 成果編集提出 (P1 参照)		
対象	実務経験 1-5 年未満		
受講料	無料 (東京都受託事業のため)		
開催形式	家庭クラブ会館 (新宿駅南口徒歩 8 分) にて集合対面形式 計 10 回		
日時	① 2024 6/27	⑥ 11/28	第 4 木曜日 19:00-21:00 全回会場集合・対面形式
	② 7/25	⑦ 12/26	
	③ 8/22	⑧ 2025 1/23	
	④ 9/26	⑨ 2/27	
	⑤ 10/24	⑩ 3/27	
認定ポイント	日本医療ソーシャルワーカー協会認定医療社会福祉士認定講座 26P (欠席・遅刻・早退等からポイント発行に至らないことがあります)		
定員	9 名		
参考文献	1. 「身体知と言語～対人援助技術を鍛える～」 奥川幸子 2007 年 中央法規 相談援助を表す図を SV 内でご紹介します 2. 「高齢者援助における相談面接の理論と実際」 渡部律子 2011 年 医歯薬出版 (ソーシャルワーク援助プロセスを実践化するために私が最も助けられた本です。)		
申込期間	2024/5/1 (水) - 6/17 (月) 先着順、未受講者優先		

講師より本講座のご案内

昨年度から GSV-B を担当させていただいています。私は、新人 MSW の時から現在まで、スーパービジョンを提供するだけでなくスーパービジョンを受けながら現場で働き続けています。経験を積んでも実践に悩みはつきものです。スーパービジョンを受けてみると、既に知っている知識や技術を実践に結びつけて見直すことで、自分の次の課題が見えたり自分で考えられるようになりました。スーパービジョンは業務に欠かせないものだ実感しています。ソーシャルワークの原則や援助プロセスの原則に沿った実践のためにぜひスーパービジョンを活用していただきたいと思います。

昨年度はオンラインで、MSW 2 年目～3 年目のみなさんの事例を通してソーシャルワークの原則を学び合う時間を持つことができました。今年度は対面です。今年度も実践事例を通したグループスーパービジョンを行います。参加者と相談の上、アセスメントの基盤となる情報収集のトレーニング、ストレングスの視点強化のトレーニングの手法も取り入れたいと考えています。

なお、このグループスーパービジョンは正式にはグループスーパービジョン的コンサルテーションです。ここで事例に対して話し合われた内容を実践に活かす場合、組織の上司に報告し、組織の援助方針として採用されてからとってください。

参考文献は、購入しなくても受講には影響しません。ただし自分のソーシャルワークの基礎となる教科書は、原則に立ち返ることができ、学生時代に読むのとは違う深い学びをもたらしますので、「私の一冊」は探し求めていただくとよいと思います。

※ 2: 上智大学文学部社会福祉学科卒業。日本福祉大学大学院社会福祉学研究所 (通信課程) 修了。人工透析専門サテライトクリニック、大学病院ソーシャルワーカーを経て 2002 年医療法人社団輝生会入職。初台リハビリテーション病院 SW 部門チーフ、法人 SWCM 部門統括、人財育成局部長を経て 2023 年初台リハビリテーション病院外来・通所ソーシャルワーカー。社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、認定医療社会福祉士、認定社会福祉士 (医療分野)、認定機構スーパーバイザー
奥川幸子先生スーパービジョン受講歴有り